

将来の気候変動が農業及び日本経済に及ぼす影響

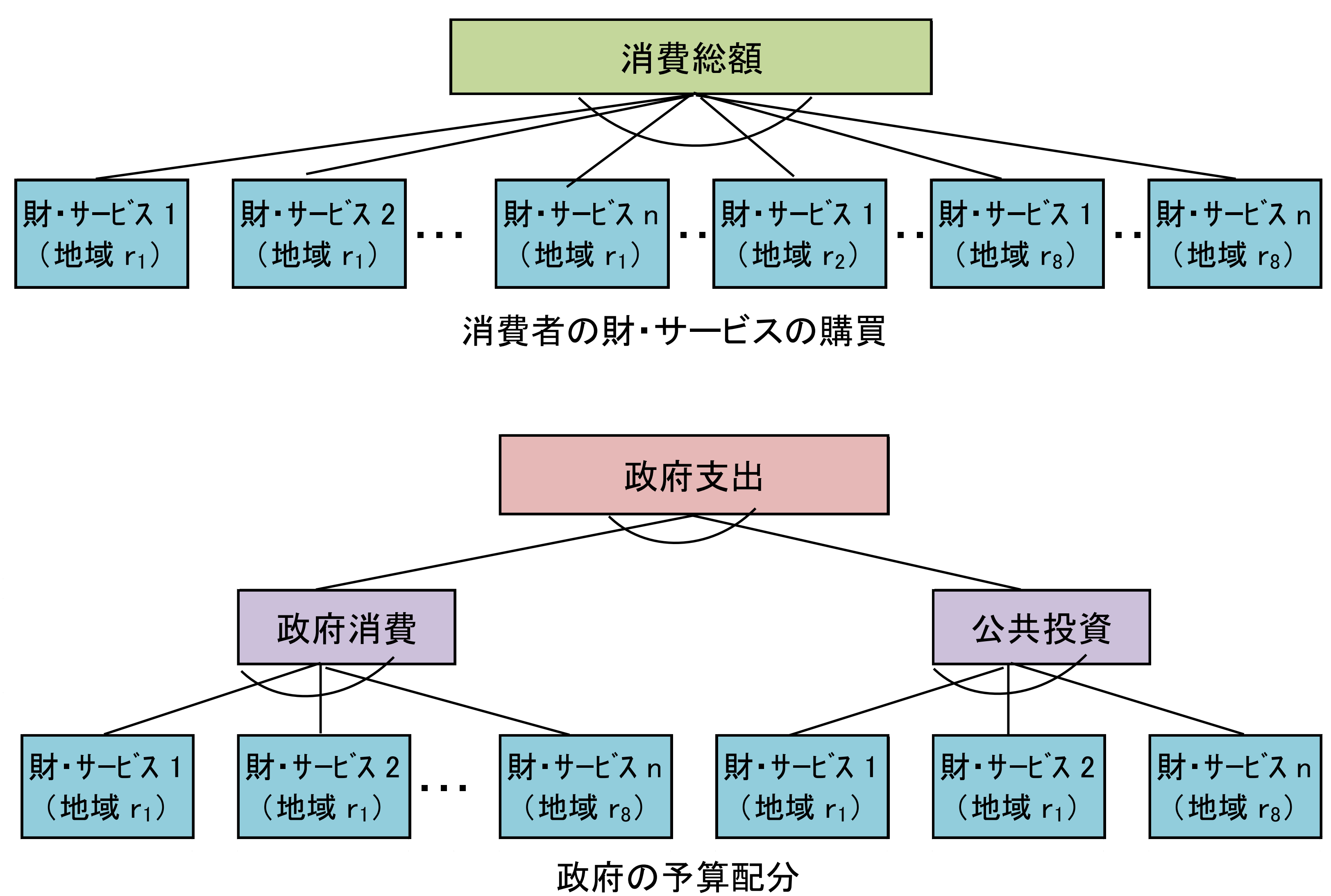
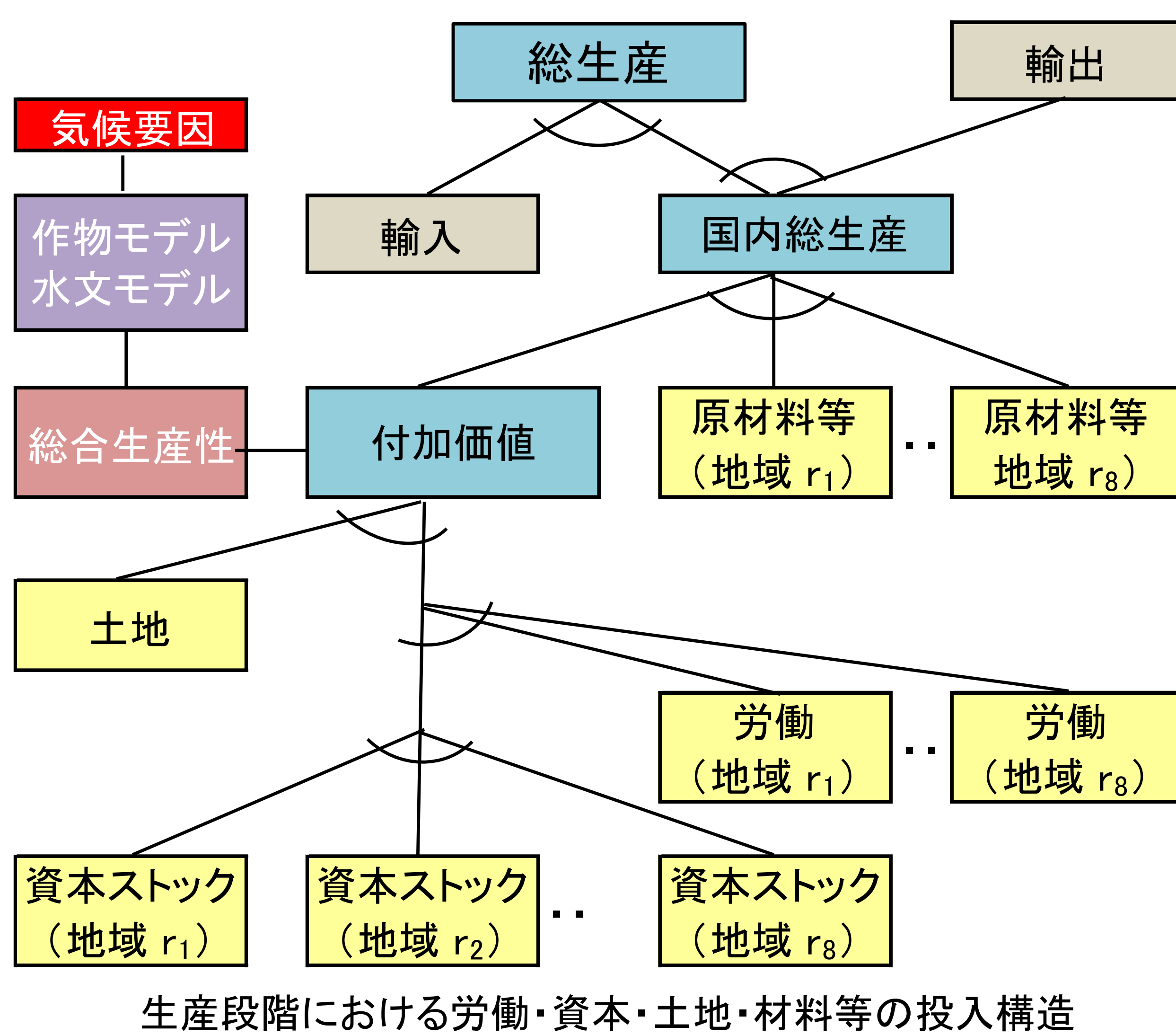
(独)農研機構 農村工学研究所



- 地球温暖化に起因する気候変動により、日本においてもコメを中心とする農業の生産が不安定になる可能性があります。
- この研究では、経済モデルを用いたコンピュータ・シミュレーションにより、将来の気候変動がもたらす農業所得や地域経済の影響を予測しました。

1

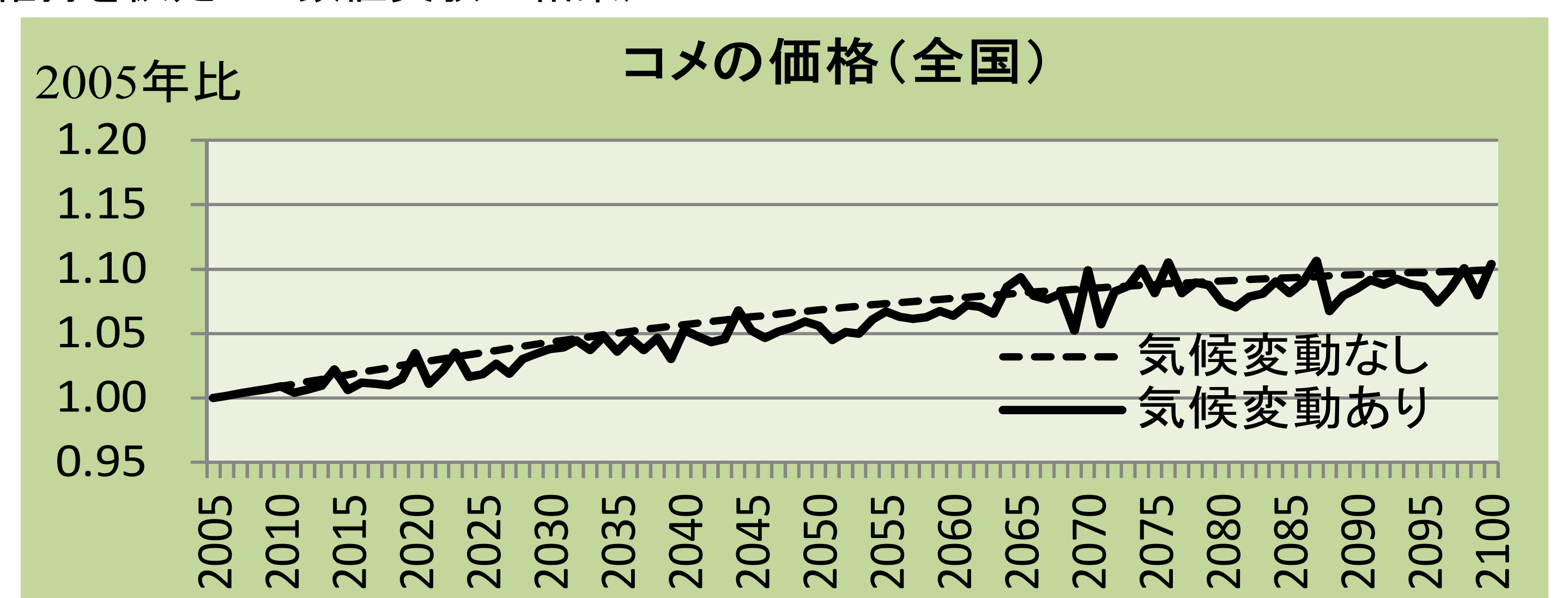
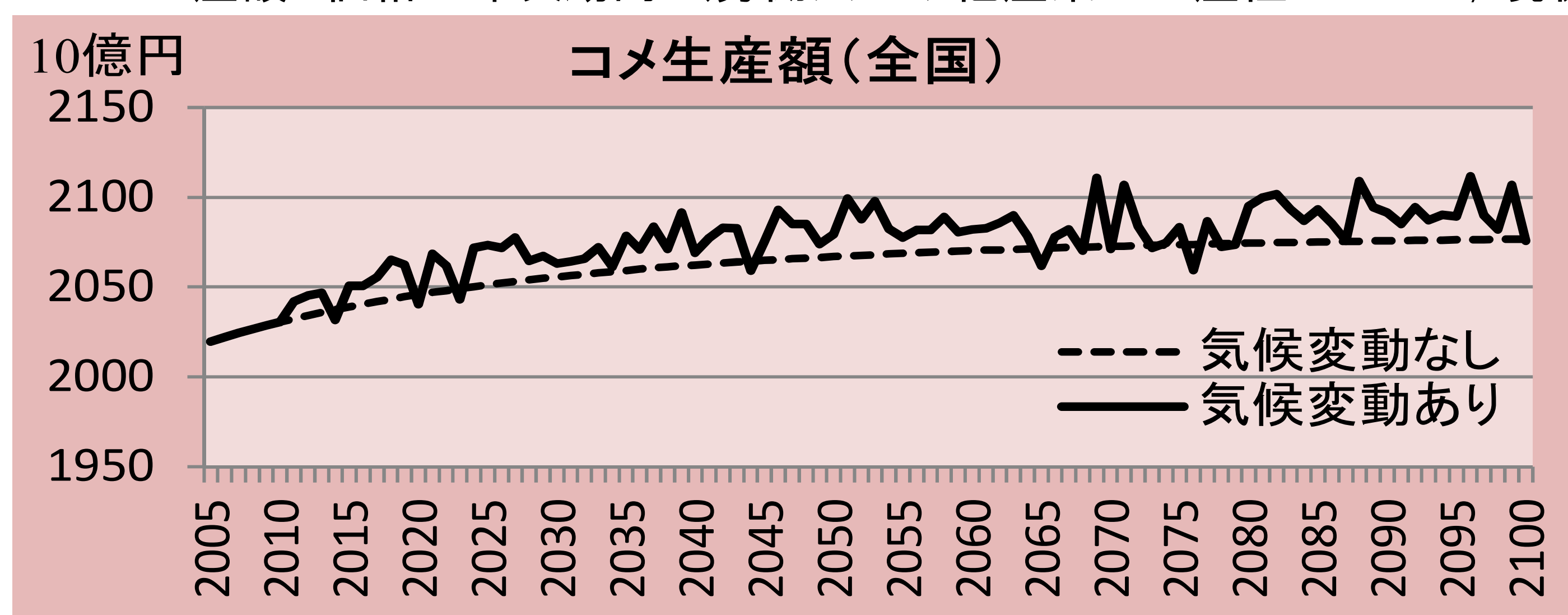
経済モデル(応用一般均衡モデル)



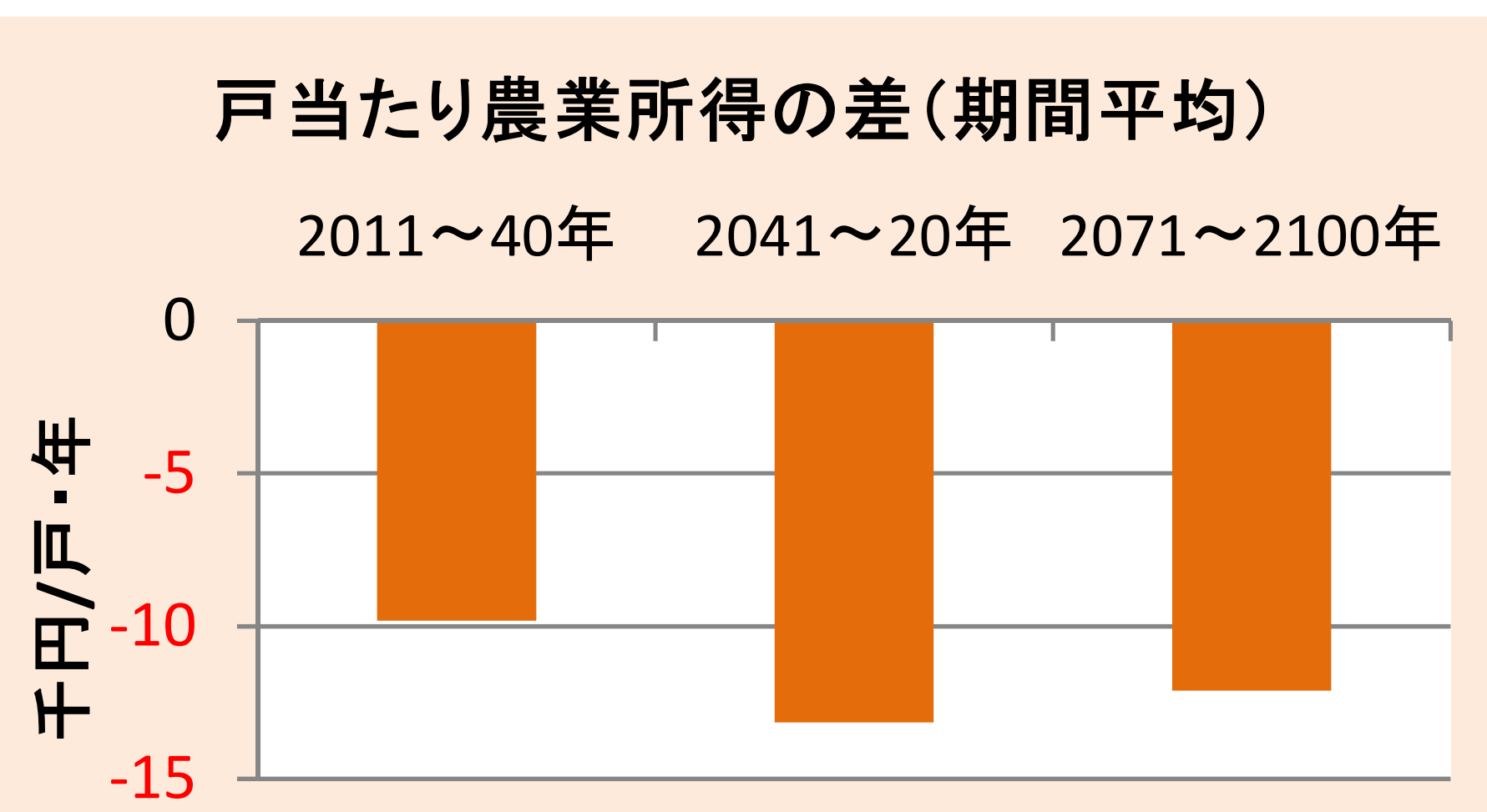
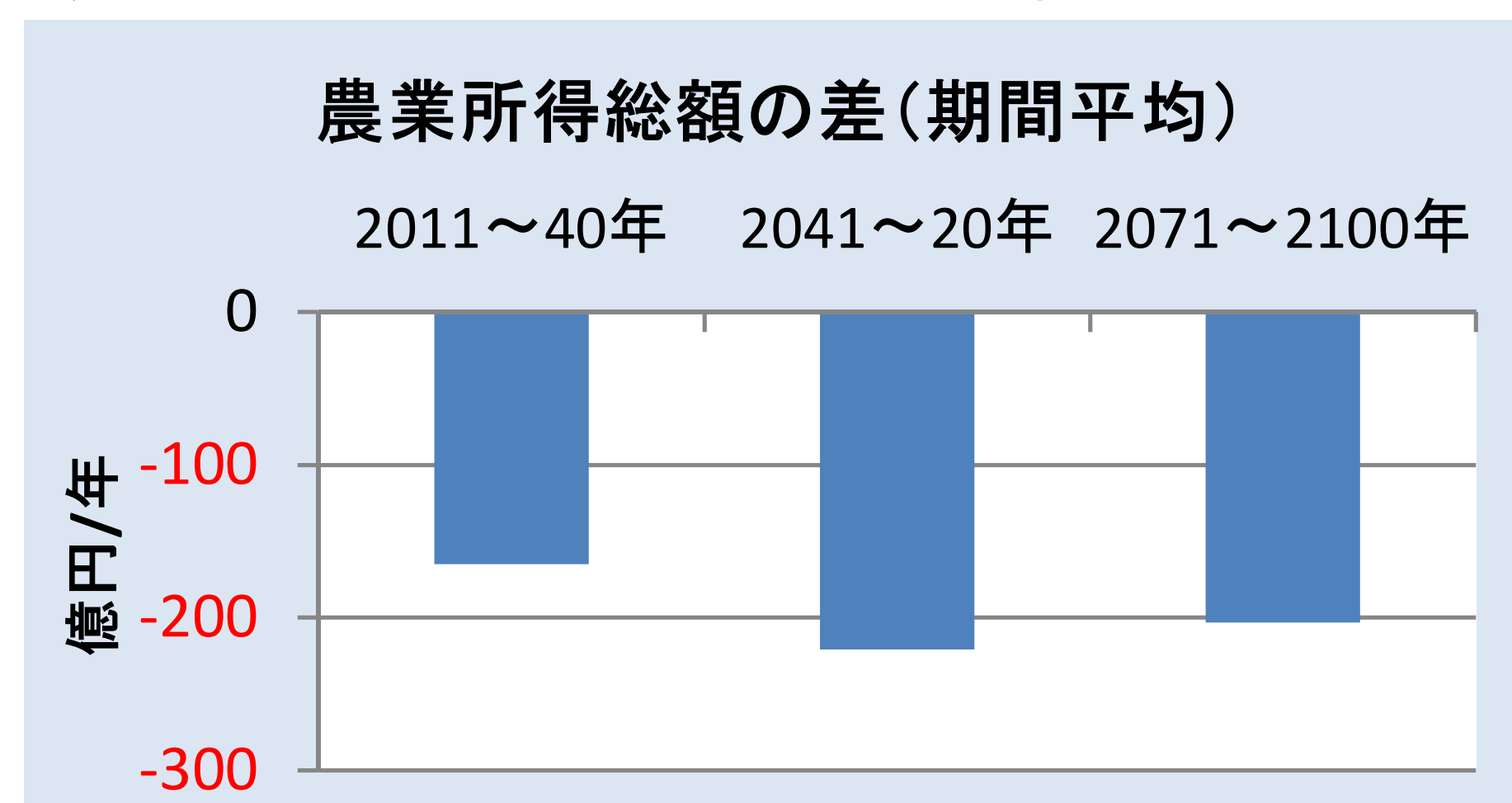
2

コンピュータシミュレーションの結果

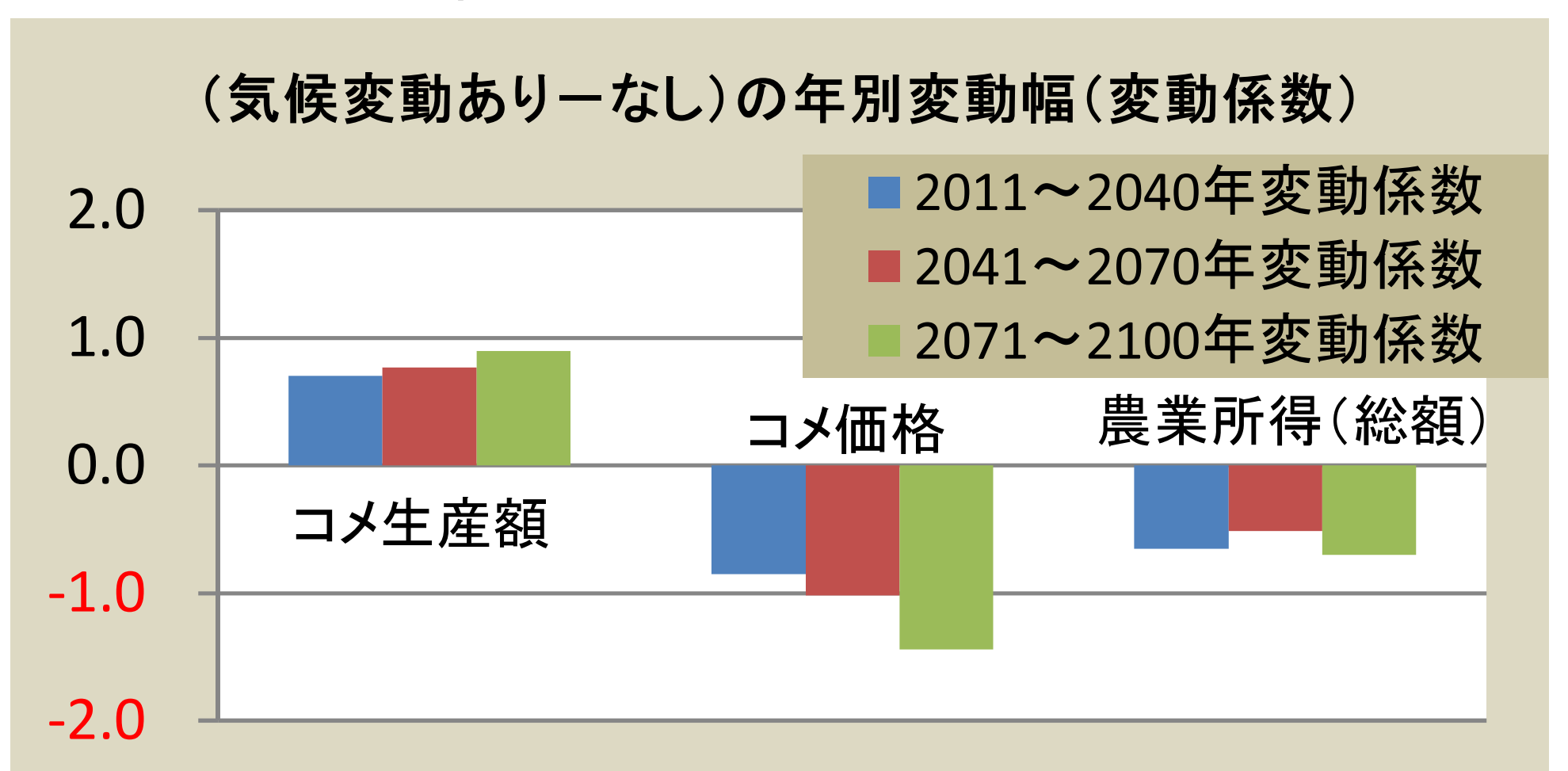
コメの生産額と価格の年次動向 (労働人口や他産業の生産性について、現状維持を仮定した数値実験の結果)



農業所得における気候変動の影響(気候変動あり・なしの差)



気候変動の影響の年別変動幅



3

まとめ

- 気候変動により頻発すると予想される異常気象は、コメ生産量を毎年変動させ、収穫量が増加する地域を中心に農業所得の減少(いわゆる「豊作貧乏」)を引き起こして、経済全体に影響します。
- 価格低下・所得減少期間・地域を対象に、将来の気候変動下でも消費者の購買意欲が高い高品質なコメ品種を、また、生産減少期間・地域を対象に安定収量が確保できるコメ品種を開発することが求められます。